



ハトダヨ  
2024年  
12月号

函館市中央図書館だより

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

TEL:0138-35-5500 FAX:0138-35-5525

函館市中央図書館だより

第103号 令和6年12月1日 発行

## 予約 ランキング

予約数の多い本ランキングを紹介  
します。こちらを参考に読みたい  
本を探すのも一つの方法です。

令和6年11月21日現在、予約回数の多かった本をご案内しています

- |    |                        |            |
|----|------------------------|------------|
| 1  | クスノキの女神                | 東野 圭吾 / 著  |
| 2  | 架空犯                    | 東野 圭吾 / 著  |
| 3  | 成瀬は天下を取りにいく            | 宮島 未奈 / 著  |
| 4  | あなたが誰かを殺した             | 東野 圭吾 / 著  |
| 5  | あいにくあんなの<br>ためじゃない     | 柚木 麻子 / 著  |
| 6  | 気の毒ばたらき                | 宮部 みゆき / 著 |
| 7  | ブラック・ショーマンと<br>覚醒する女たち | 東野 圭吾 / 著  |
| 8  | 迷惑な終活                  | 内館 牧子 / 著  |
| 9  | わたしの知る花                | 町田 そのこ / 著 |
| 10 | 籠の中のふたり                | 薬丸 岳 / 著   |

## 図書館俳句ポスト受賞者

8月俳句ポストへ応募された中から選ばれた  
作品です。お題は「踊(おどり)」。

佳作

4Bのうまく削れぬ朝曇  
花石榴よべど返事の無き館

銀子  
安福巖

入選

夕風や小さき窓を抜ける船  
羊蹄に抱かれし夫の墓洗う  
踊り子やスマホ巾着腰に提げ

中西芳之  
練合陽子  
富樫けんじ

## <図書館 de クリスマス20>

お話会と工作

12月21日(土)

10:00~11:30

2階 大研修室

定員:子ども10人(要・事前申込)

12月6日から受付開始します!

光る影絵

12月21日(土)

14:00~14:40

視聴覚ホール

定員:90人(要・事前申込)

12月1日から受付開始します!

クリスマス上映会

12月22日(日)

①11:00~11:30 子ども向け

②14:00~16:18 大人向け

視聴覚ホール ※申し込み不要

新春企画

お楽しみ袋

どんな本が入っているかは借りてからの楽しみ!

令和7年1月4日(土)

11:00より

一般書 25袋 総合カウンター前

児童書 25袋 児童カウンター前

詳しくは館内チラシ・ポスターをご確認ください

ハトダヨにしか  
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

## スタッフのおすすめ本

場所：A19~21  
請求記号：726.6 ㇿ

タイトル：「おしごとそうだんセンター」

著者：ヨシタケ シンスケ 出版社：集英社（2024年2月）

今年、テレビなどで紹介された「おしごとそうだんセンター」は、宇宙人を主人公に、職業安定所のスタッフとお仕事について考えるちょっとコミカルで可愛いお話です。「めずらしいおしごと」がたくさん紹介されています。

お仕事どうしよう…と悩んでいる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。この本を読むことによって、将来に向けて何かヒントが見つかるかもしれません。大人気絵本作家ヨシタケシンスケが贈るすべての悩める子供と大人へ向けた、ハートウォーミングな楽しいハローワークストーリー。是非一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。

場所：J14~15  
請求記号：596.65 ㇿ

タイトル：「スイーツ断面図鑑 おいしさの秘密がわかる」

著者：猫井 登 出版社：朝日新聞出版（2011年9月）

ショートケーキ、ザッハトルテ、モンブラン、シュークリーム……。

名前や形の由来、歴史、作り方などおいしさの秘密を断面の写真とともに紹介されています。

カフェの楽しみ方、忘れられないパリのお菓子などのコラムも収録。銀行員からお菓子の歴史研究家に転身した著者がおくるスイーツの魅力をもっと味わうための一冊です。

場所：A25~30  
請求記号：F ㇿ

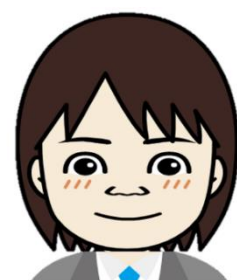
タイトル：「梟の一族」

著作：福田 和代 出版社：集英社（2019年2月）

常人離れした身体能力を持ち、眠ることを知らない《梟》の一族。彼らが住む隠れ里が何者かに襲撃され、一人だけ取り残されてしまった一族の末裔、史奈。ここから彼女の孤独な戦いが始まります。襲撃者の目的は一体何なのか？誰が敵で、誰が味方なのか。ハラハラ・ドキドキのエンターテインメント小説です。

文庫版で続巻も出ているので、そちらも是非ご覧ください。

## 館長随想(三十三)



今年の十月から小鳥を飼っています。量販店のペットショップコーナーで二羽がかごの中にいて、鳴き声がかわいくて早速購入し、つがいので飼っています。

ペットは金魚ぐらいしか飼ったことがなかったので、えさやりについて教えてもらって飼い始めました。小鳥の種類を聞くと「キンカチヨウ」と店員さんが教えてくれました。

図書館に本があるに違いないと思い、探してみると「錦華鳥」という漢字がでてられており、明治以降、輸入によってペットとして飼われている鳥であることがわかりました。スズメ目カエデチヨウ科で、スズメみたいにかなり臆病な小鳥です。

飼い方の本について探してみましたが、ぴったりのものはありませんでした。文鳥、インコなどが一般的で飼い方の本はありますが、似たような飼い方でいいのか悩みは尽きず、インターネットの情報に頼るばかりです。

十一月末は職員研修で当館の礎をつくった岡田健蔵氏のことを話すため本にあたっていました。岡田氏が自宅に私設図書館を作ったのは、魚油ろうそくの作り方を知りたいため本を求めたのが始まりとされています。岡田氏が探し求めていた「魚油蠟編（ぎょゆろうへん）」(1892年 柁川温／著)を見ますと、クジラ、いわし、まぐろ、いるかと様々な油が書かれています。マイケル・ファラデーの「ろうそくの科学」にはクジラの油のろうそくについての記述があります。

明治に入り近代化が進み、情報を求めるうそくづくりに励む岡田氏を知るにつれ、自分の情報収集の稚拙さ、現代の豊かさ、豊かさの陰で忘れた情報があるのではと思いがぐらしました。小鳥は小さな卵を産みました。私も知恵の卵を産み育て豊かな図書館にしていきます。

(館長 落合仁子)

# デジタル資料館 紹介



魯西亜女帝之肖像 (be001095)

大黒屋光太夫は江戸時代、ロシアを経験して帰ってきたはじめての日本人です。

天明2年(1782)、駿河沖で遭難した光太夫達はやがてロシアに漂流し、およそ10年の歳月を経て日本に帰ってきました。光太夫がロシアから持ち帰った品々は模写が残され、これはその中の一つロシアの女帝エカテリーナ二世の肖像を写したものです。

親子で楽しむ

ひと足早いクリスマス

～絵本と音楽でサンタさんに会おう～



日時: 令和6年12月4日(水)

15:30～16:00



クリスマスよみきかせ in 湯川図書室

会場: 湯川支所 2階会議室

朗読: 函館短期大学 学生のみなさま

定員: 先着 20名

入場: 無料(申込不要)

お問合せ: 湯川図書室 TEL:0138-57-4120

「つ・な・が・るおはなし会 湯川図書室クリスマスよみきかせ会」